

「医薬品」

子どもの誤飲を防ぐ

3つのルール



一、見えないところ

にかたづけましょう。

二、手の届かないところ

にかたづけましょう。

三、服用後すぐ

にかたづけましょう。



家庭に持ち帰った医薬品を、
子どもが誤飲するケースが多発
しています。

これを防ぐためには、まず専用の
薬入れと保管場所を確保して
ください。

間違いやすいお菓子の空き缶
などは使用しない。

専用の薬箱や子どもが開けにくい
容器に入れ、使用後はすぐに定
位置へ戻す習慣を。

扉のついた高い棚や鍵のかかる
場所なら安全・安心です。

子どもが誤って薬を飲んでしまったら！

つくば中毒110番

029-852-9999
— 365日・9～21時対応 —

大阪中毒110番

072-727-2499
— 365日・24時間対応 —

小児救急電話相談

#8000
— 365日対応 —

日本製薬団体連合会

(監修 厚生労働省)

保護者の皆さんへ

家庭に持ち帰った医薬品の
子どもによる誤飲が多く発生しています
子どもの行動を考えて、
家庭における薬の保管に注意しましょう

乳幼児のくすりの誤飲は大人の責任。
くすりは子どもに見えないところ、高いところ、
手の届かないところで保管しましょう。

✓ 推 奨

- ✓ 高さ120cm以上のところに子どもが開けられない鍵の付いたくすり箱等で保管する
- ✓ 子どもの見ているところでくすりを飲まないようにする（子どもは親のマネをしたがる）

子どもが医薬品を誤飲した際の相談機関

（例）中毒110番・電話サービス、小児救急電話相談（通話料は相談者負担）

つくば中毒110番

029-852-9999

— 365日・9～21時対応 —

大阪中毒110番

072-727-2499

— 365日・24時間対応 —

小児救急電話相談

#8000

— 365日対応 —

日本製薬団体連合会

（監修 厚生労働省）

保護者の皆さんへ

乳幼児のくすりの誤飲は 大人の責任。

くすりは子どもに見えないところ、
高いところ、手の届かないところで
保管しましょう。

家庭に持ち帰った医薬品の子どもによる誤飲が
多く発生しています

子どもの行動を考えて、家庭における薬の保管に
注意しましょう

推 奨

高さ120cm以上のところに子どもが開け
られない鍵の付いたくすり箱等で保管する
子どもの見ているところでくすりを飲まない
ようにする(子どもは親のマネをしたがる)



子どもが医薬品を誤飲した際の相談機関(例)

中毒110番・電話サービス(通話料は相談者負担)

つくば中毒110番(365日 9~21時対応) 電話:029-852-9999

大阪中毒110番(365日 24時間対応) 電話:072-727-2499

小児救急電話相談(通話料は相談者負担)

#8000番(365日対応)

お住まいの都道府県によって時間帯は異なります

日本製薬団体連合会
(監修 厚生労働省)